ゆく年

今年も残り少なくなってきました。今月は「ゆく年、くる年～本で一年を振り返る～」をテーマにしました。虎(とら)年の今年はコロナ禍の続くなか、紛争や景気低迷など暗いニュースの多い年だったように思います。

十二月十二日は「漢字の日」です。毎年、その年を表した漢字一文字が選ばれますが、今年はどんな漢字が選ばれるでしょうか。

兎（うさぎ）年の来年は明るい一年になることを願います。

松蔭中高図書館　二〇二二年　十二月十二日　library@shoin-jhs.ac.jp

担当　三上

一月

一六六回　芥川賞　『ブラックボックス』砂川文次

一六六回　直木賞　『塞王の楯』　今村翔吾

『黒牢城』　米澤穂信　角川書店　2021

ロシアによるウクライナ侵攻

『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬　早川書房　2021

戦場という非日常の中で、女性狙撃兵セラフィマの人生が描かれます。戦争は個人の何を奪うのでしょうか・・・

二月

「ドライブ・マイ・カー」米アカデミー賞　受賞

『女のいない男たち』村上春樹　文春文庫　2016

受賞作品「ドライブ・マイ・カー」の原作。他者を理解しようとして、自分の内にある感情に気づき居場所を見つけようとする男性の短編集。図書館にはDVDもあります。

※貸し出しは高校生から

三月

成人年齢十八歳に引き下げ　改正民法が施行

『狙われる18歳!?～消費者被害から身を守る18のQ&A～』

日本弁護士連合会　消費者問題対策委員会　岩波ブックレット　2021

民法改正により成年年齢が十八歳に引き下げられ、契約やクレジットカードを作ることが出来るようになりました。消費者被害にあわないために知っておくことからはじめてみませんか。

四月

沖縄本土復帰五十年

『ドキュメント〈アメリカ世(ゆー)〉の沖縄』

宮城修編　岩波新書　2022

リゾート地のイメージがある沖縄ですが、戦後二十七年間、アメリカに統治され、基地問題や米兵による事件など、住民の苦悩は戦後も続きました。沖縄には今でも、多くの問題が残っています。

五月

小惑星探査機「はやぶさ2」が持ち帰った砂に生命の源

『地球以外に生命を宿す天体はあるのだろうか?』

佐々木貴教　岩波ジュニスタ　2021

宇宙の中の生命体についての関心が高まるなか、「はやぶさ2」の持ち帰った小惑星リュウグウの砂から生命のもととなる物質が確認されました。宇宙に生命体は存在するのでしょうか?

六月

一六七回　芥川賞

一六七回　直木賞　『おいしいごはんが食べられますように』高瀬隼子

『夜に星を放つ』　窪美澄

七月

安水稔和氏十六日死去　元松蔭中学・高校教員

『神戸　わが街～ここがロドスだ　ここで踊ろう～』

安水稔和　神戸新聞総合出版センター　2016

「神戸で生まれ、神戸で育ち、神戸に暮らし、神戸でこの生を終えるに違いない私には、まさに神戸がわがロドスであり、ここで私は踊ろうと思い、踊ってきた」　神戸について書かれた散文集。

八月

松蔭女子学院創立百三十年

『シャーロック・ホウムズの冒険』

コナン・ドイル　岩波少年文庫　1985

松蔭女子学院が創設された一八九二年、イギリスでシャーロック・ホームズ初の短編集が刊行されました。推理小説を確立させたコナン・ドイルの作品は百三十年たった今でも色あせることがありません。

九月

オリックス　二十六年ぶりに五度目の優勝

『未来をかえるイチロー262のNextメッセージ』

「未来を変えるイチロー262のNextメッセージ」編集委員会　ぴあ 2008

在籍していたオリックス優勝後、アメリカに渡り活躍したイチロー選手の印象深い言葉集。

『挑戦するのか、やらないのか、

それは、まったく意味が違うことです』

十月

ジブリパーク　愛知県に開園

『「宮崎アニメ」　秘められたメッセージ

～『風の谷のナウシカ』から『ハウルの動く城』まで～』

佐々木隆　KKベスト新書　2005

宮崎アニメを見たことのある人は、それぞれの物語、個性的な登場人物が心に残っていると思います。それらに込められた意味や願い、背景などが作品の解説とともに紹介されていて、読後はもう一度アニメ作品を見たくなります。

十一月

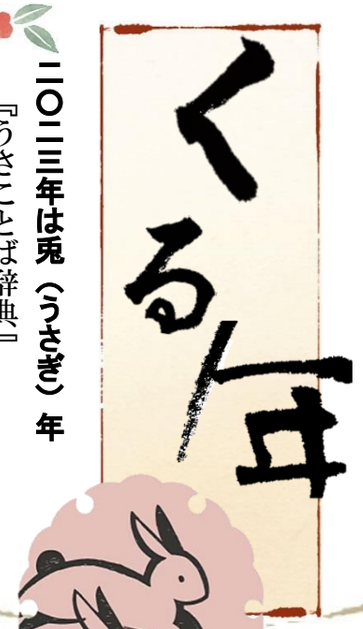
十二日　今年の漢字一文字発表

『線は、僕を描く』　砥上裕將　講談社　2019

京都の清水寺住職の揮毫（きごう）によって今年の漢字が発表されます。無気力な日々を送っていた青山霜介は水墨画家の篠田湖山と出会い生きる意味を見つけ出していきます。

十二月

くる年



（上半期）

二〇二三年は兎（うさぎ）年

『うさことば辞典』

グラフィック社編集部編　森山標子絵　グラフィック社　2021

最近ではペットとしても人気のあるウサギ。人間との関係は古代ローマ時代が始まりでした。ウサギにまつわる言葉の辞典。

国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス

一月よりプリントアウト開始予定

大河ドラマ「どうする家康」主演、松本潤

日本史リブレット人046

『徳川家康～時々を生き抜いた男～』藤井譲治　山川出版　2021

我慢して耐えるイメージが強い徳川家康は、関ヶ原の戦いに勝利し、天下を統一して安定させた戦国時代最後の武将です。

G7サミット　広島で開催　五月十九日～二十一日

『新版　国際機関ってどんなところ』

原　康　岩波ジュニア新書　2007

国際機関とは、国際社会の約束に基づき複数の国家によって作られる組織です。G7は年に一度開かれる主要七カ国（仏・米・英・独・日・伊・加）による政治フォーラムで、国際情勢にあわせた様ざまな問題について議論が行われます。

国際数学オリンピック日本開催　七月二日～十三日

『愛×数学×短歌』　横山明日希編　河出書房新社　2018

「数学のお兄さん」こと編者が、数学の魅力を伝えたいと始めた数学短歌集。高校生二人の恋物語にあわせた短歌と数学の解説つき。

「割り切れない気持ちが残っているときは

ひとつを足すかひとつを捨てるか」S.m-W

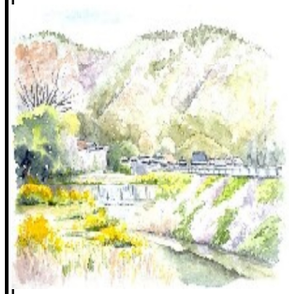
参考文献：日本経済新聞・神戸新聞・朝日新聞（縮小版）・国立国会図書館・日本漢字能力検定協会・外務省ホームページ

司書四人が選ぶ今年の一冊

今年は水平社宣言100周年でした。SDGｓでも人権を守ることは「10.人や国の不平等をなくそう」と目標になっています。

今年亡くなった安水稔和先生が図書館長だった頃、グループ文庫として、クラス全員で同じ本を読むために、選んだ本を人数分用意していました。そのなかに**『橋のない川』**がありました。

あなたは部落差別を知っていますか？理由のない差別に苦しみながら生きていく子どもたちの物語。誠太郎と孝二の兄弟が主人公。小学校でも家の手伝いをしないと生活できないから授業を休んでいるのにそれを非難されたり、消防車の競争でやっと勝ったのに優勝旗を取り上げられたり、お前たちは汚いと大人や先生にすら一緒になってさげすまれる毎日。力強く誇りたかく生き抜くひとたち。やがて彼らは日本初の人権宣言と言われた『水平社宣言』を作り上げます。



今でも結婚や就職では暗黙に差別があるといわれています。弱いものを排除していく人間の醜さと愚かさ。皆さんには少しでも弱いものに心を寄せてほしいと思います。差別という人権侵害がエスカレートして戦争になるのだと思います。人間を大切にしていれば戦争なんて起こりません。

『橋のない川（一）』住井すゑ著
新潮文庫　（改版）2002

（眞鍋）

冬休みの日程 12月は23、26、27日
1月は6日から開館です

今年1番興味深く読んだ本は
『言の葉の森』チョン・スユン著 亜紀書房 2021。和歌を韓国語に翻訳し、エッセイを添えた1冊です。翻訳されたハングルの文字数もほとんどが五七五七七の三十一文字になっていて、和歌に近いリズムで読むことができます。著者は、太宰治から凪良ゆうまであらゆる作家の本を手がけている人気翻訳家。その作品の1つに、茨木のり子の詩集があります。茨木のり子は50歳の時にハングルを学び始め、自ら韓国の詩を翻訳し、日本に紹介した人でもあります。言葉の持つ美しさにこだわり、2つの言語の狭間で表現を探った2人。ていねいに行われた仕事は色褪せることなく、確実に未来の誰かに届くんだなぁ、とうれしくなりました。（高田）

『from under 30 世界を平和にする第一歩』
14歳の世渡り術 河出書房新社編 河出書房新社2022年

私が生きてきたなかで、今年が一番「戦争」を身近に感じる年でした。悲惨な状況を目にしているのに、戦争を止められないという無力を感じました。「戦争は起きる」ということを目の当たりにして、自分の無力さを感じるだけでいいのかとも思いました。小原ブラス、東田直樹、井手上漠…30歳未満の若者19人が「平和」について考え、言葉にしているのがこの本です。様々な人から見た、様々な視点から考えられる「平和」。他の人の考えを文字で読むことで、ハッと気づかされることがありました。たとえ自分一人小さな存在だとしても、答えがなかったとしても、「平和であるために、自分の頭で、自分の意思で、考え続けることを止めてはいけない」ということを確認しました。（片山）

『マンガでわかる地政学　―改訂版―』
茂木誠監修　池田書店　2021

今年１年を振り返り印象的なことといえば、やはり未だ終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻があります。最近聞かれるようになった「地政学」とは字の通り、国と国の関係が地形によってどう変わるかを考える学問です。歴史の中では大陸で隣接する国と国とでは様々な対立や紛争問題を抱えることも多くありましたが、島国の日本でもロシアや中国と歴史的な領土問題を抱えています。経済活動、情報・環境問題など他国と関わることなく問題を解決することが難しい現在、日本の立場と今後について改めて考えるきっかけになった１冊でした。（三上）

ブックサンタのご紹介

経済的にクリスマスプレゼントをもらえない子どもやウクライナ難民の子どもにクリスマスプレゼントとして本を贈ろうという取組みです。

書店で、贈りたい本をレジに持っていってその代金を払って「ブックサンタ」お願いします、というと子どもたちに贈ってくれます。もしよければ一冊そういう子たちにプレゼントしてみませんか？

ブックサンタができる書店一覧はこちらです。
https://booksanta.charity-santa.com/bookstore　24日まで受付中。